

# 望ましい生活習慣を実践しようとする児童の育成を目指して

～歯・口の健康づくりのための家庭・地域社会との連携・協力を通して～

茨城県土浦市立山ノ荘小学校

## 1 学級活動や保健学習

【歯みがき教室】



- ・歯みがき教室（全学年）や食に関する指導において、担任や養護教諭、学校歯科医や歯科衛生士、栄養士等と連携して取り組んだ。
- ・歯みがき教室では、作成した歯型や各種検査（歯垢の染め出し、咀嚼力判定ガム、RDテスト等）等の体験的な活動を取り入れたことで、児童が自分の口腔内の様子に興味・関心をもった。
- ・学校歯科医や歯科衛生士、栄養士と継続的に連携したことで、専門的な知識や技能に触れることができた。そして、学習したことを普段の生活に生かし、歯みがきの習慣等が身に付いた。

## 2 家庭・地域社会との連携

【親子歯みがき教室（1年生）】



学校歯科医が講師。保護者は、仕上げみがきの大切さを改めて実感していた。

【学校保健委員会やましようフォーラム】  
家庭における健康課題解決のための取組「家庭一実践」の報告会を実施した。



【総合的な学習の時間】  
「8020」を達成しているの方を招き、生活習慣についての質問等をし、実体験を語って頂いた。



# 家庭・地域社会と連携した歯・口の健康づくり

## 3 日常活動（保健委員会活動、個別指導、環境）

【歯ピカ集会】



学校歯科医や歯科衛生士が作成した「歯の広場」を見学。



【個別歯みがき指導】



保健委員児童も低学年のミニミニ先生になり指導。



【歯の何でも相談日】



毎月1回、学校歯科医や歯科衛生士が保健室にて実施。



口腔内写真も撮影し、歯みがき教室のワークシート等に活用。

